▼タイトル▼

不定詞　発展

▼問題文▼

文法・語法上の誤りのある箇所を１つ選びなさい。

▼小問▼

①For the past year, Karin Beese and her family have been on a low-carbon diet ②in an effort to reduce their greenhouse gas emissions and ③to be prevented the worst effects of climate change. And ④it’s changed their lives.  
  
（中央大）

▼選択肢▼

①

②

T③

④

▼解説▼

解答：③ → to prevent  
【設問の解説】  
「この１年のあいだ、カリン・ベーゼとその家族は温室効果ガスを減らし、気候変動への悪影響を防ごうと努力しながら低炭素の食事をつづけてきた。それにより、彼女たちの生活は変わってきている。」  
in an effort to doは「～しようと努力して／～する努力をしながら」という意味。本問では、effortのあとにつづく不定詞句to reduce ～ とto be prevented ～ がandをはさんで２つ並んでいる。ただし、２つめのto be preventedは文意が通らない。preventは「～を防ぐ」という意味の他動詞で、prevent the worst effects「悪影響を防ぐ」とすれば文意が通るので、受動態の不定詞にする必要はない。  
①はfor the past yearで「過去１年のあいだ」という意味で**期間**を表し、あとにつづく継続を表す現在完了have beenといっしょに使える。④のit’s changedは受動態のit is changedの短縮形ではなく、**現在完了**it has changedの短縮形であることに注意。用法としては、文意から継続と考えるのが妥当だが、「変わってしまった」（完了・結果）と考えてもよい。

▼問題文▼

空欄に適する語句を選びなさい。

▼小問▼

Emma often left the door unlocked or even ajar, though she had been told ［　　　］.  
  
（－）

▼選択肢▼

T① not to

② to do not

③ to not

④ not do it

▼解説▼

解答：①  
【設問の解説】  
「エマは、そんなことはするなと言われていたにもかかわらず、よくドアの鍵をかけないままにしたり、少し開けたままにしたりすることさえあった。」  
前に出た「動詞（＋目的語など）」の反復を避けるために、不定詞to doのtoだけを使って不定詞の意味を表す用法がある。これを**代不定詞**とよぶ。本問は、tell A not to do「Aに～しないように言う」の不定詞の部分に代不定詞が使われており、前述のleft the door unlocked or even ajarという内容が省略されている。  
... she had been told not to (leave the door ... ajar).  
leave O C「OをCのままに（放置）する」  
ajar「（ドアなどが）少し開いて）」